

加美電子工業(株)、中国で案件化調査

「炭酸ハイブリッド塗装システム」でVOC（揮発性有機化合物）削減を目指す

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において加美電子工業株式会社（宮城県加美郡、早坂裕代表取締役社長）が提案する中国における「炭酸ハイブリッド塗装システムによる中国大気環境負荷低減促進への案件化調査」採択しました。

中国では、経済活動の拡大による工場や急速に増加した自動車の排気ガスによる微小粒子状物質（PM2.5）等による大気汚染が深刻化しています。PM2.5は排気ガスに含まれる窒素酸化物とVOCが太陽の紫外線による化学反応により生成されることから、VOCの排出抑制対策を進めることが大気汚染を軽減するために重要であると考えられています。VOC排出量の多くが工業塗装で使用される塗料希釈剤に由来しており、工業塗装の代表産業である自動車製造業、造船業が集積する上海市では、VOC排出量削減の厳格な数値目標が企業に課せられています。中国では、2018年1月1日から環境保護税が導入されることが決定しており、これから企業はさらに対応を迫られることとなります。同社が産学官連携を通じ開発した「炭酸ハイブリッド塗装システム」は、液化炭酸ガスを使用することにより大幅に希釈溶剤の使用量を削減することで、中国の工業塗装業におけるVOC削減効果を可能にし、越境大気汚染による日本への影響を軽減することも期待されます。本調査では、現地調査に加え、本邦受入研修を通じ、日本の先進技術紹介等も行う予定です。本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。



(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を行う。2012年度から実施されており、2017年度第1回分は今年3月に公示を行い、36件が採択。参考：(プレスリリース) 案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当 上野

TEL 022-223-4772 e-mail : Uwano.Midori@jica.go.jp